

## 令和5年度「日本の魅力発見ツアー」

1月5日金曜日（1日目）訪問地：奈良県

- 今年で3年目の「日本の魅力発見ツアー」。今年度のツアーは、昨年、世界遺産登録 30 周年を迎えた「法隆寺」からスタートしました。



- 中門の正面で、講師の山崎末王先生から「なぜ門の真ん中に柱があるんだろう？」と問われ、中門を凝視する西高生。  
様々な説があり、それぞれに根拠があることを教えてもらい、文化財の魅力に引き込まれていきます。



- 移動中のバスの中でも、車窓から見える寺社や古墳について、山崎先生の説明がよどみなく続きます。今回も、バスのドライバーさんと山崎先生が、名所旧跡が見えるルートを通れるよう心を砕いてくださいました。感謝！



- ・次に訪れたのは、初詣仕上げされた「春日大社」。普段よりもご本殿に近づいてお参りすることができました。また、国宝殿の冬季特別展として、関白や将軍たちが春日大社に奉納した最高級の刀剣を鑑賞しました。



- ・夕食後は夜の勉強会。前半は、復習として神道の基本的な知識と神仏習合などについて、後半は予習として仏像の種類や寺院の建築様式などについて、山崎先生からレクチャーを受けました。山崎先生の説明を一言一句聞き漏らさないように全員集中してお話を聞いています。





1月6日土曜日（2日目）訪問地：奈良県、京都府

- 2日目の研修は「興福寺」からスタート。平成30年に再建された中金堂や保存修理が始まった五重塔が見渡せる南大門跡で、興福寺の見どころを山崎先生から教えていただきました。その後、開館時間を待って国宝館へ。おなじみ阿修羅像や仏頭などをじっくり鑑賞しました。



- 次に訪れたのは「東大寺」。前日に訪れた法隆寺と比較しながら、東大寺に関する基礎知識を学びました。加えて、南大門に残る火縄銃の弾丸の跡などマニアックなお話が聞けるのもこのツアーの魅力です。山崎先生からの問いかけに少しずつ答えられるようになってきました。





- 昼食後は京都へ移動し、黄檗宗の大本山「萬福寺」を訪ねました。萬福寺は日本では珍しい中国風の寺院です。私たちが抱いている仏教や仏様に対するイメージがおもしろいほど覆されます。このツアーでは、知識が増えることでモノの見え方・見方が変わることを実感します。



- 2日目最後の研修場所は「清水寺」。人と車で大混雑でした。清水の舞台を向かい側の三重塔から眺め、なぜここに清水寺が建てられたのか、三重塔があるのかといった謎解きを楽しみました。





## 1月7日日曜日（3日目）訪問地：京都府

- ・3日目の研修は「大仙院大徳寺」からスタート。京都らしい冷え込みの中で石庭を鑑賞すると、心が澄み渡るように感じました。大徳寺はお茶が有名ということで、みんなで抹茶をいただきました。昨日訪問した同じ禅寺である「萬福寺」との共通点を見つけたり、山崎先生に自分から質問したりと、みんなの探究のエンジンに火が灯ったようです。



- ・次に訪れたのは石庭で有名な「龍安寺」。敷地内には大きな池があり、回遊式庭園から石庭へと変化した歴史的背景について説明を聞きながら石庭に向かいました。先ほど鑑賞した「大徳寺」の石庭との違いや昨日訪問した「萬福寺」との共通点を山崎先生に教えていただきながら石庭を鑑賞する西高生の表情からは、「いろいろなことがつながっているんだ、おもしろい！」「もっと知りたい！！」という気持ちがあふれていました。



- ・最後の研修先「蓮華王院三十三間堂」では、まずは外から建物を観察。「通し矢」という競技の跡を見つけて、当時の様子を想像しました。お堂の中では、山崎先生から出された千体千手観音像に関するお題に答えるべく、最前列の仏像たちと真剣に向き合いました。イヤフォンガイドのおかげで、離れていても静かな場所でも山崎先生の解説を聞くことができ、充実した研修ができました。山崎先生、添乗員さん、ドライバーさん、お世話になりました！本当にありがとうございました！！

